聞かせてください 子育ての不安や悩み

たくさんいる身近な相談相手　人に頼ることは子育てを豊かにします

地域には、民生委員児童委員や主任児童委員（※）など、子育てについて相談できる窓口がたくさんあります。参考になるアドバイスが得られますので、不安や悩みは一人で抱えず、気軽に話してみませんか。

子育てに不安や悩みを抱えていたら

子育ては、保護者だけではなく社会全体が責任を持って進めるべきものです。さまざまな要因で子育てに不安を抱えたり悩んだりするのはみんな同じです。民生委員児童委員や主任児童委員は、子育てに不安や悩みを抱える保護者に寄り添う地域の相談相手です。相談を希望する人は、地域の自治会関係者や、子ども家庭支援室☎(632)2390へ。

皆さんの身近にあるさまざまな相談窓口

ページ番号 1004786

本市には、子どもをめぐるさまざまな課題を相談できる窓口がたくさんあります。子どもの発達や養育方法、経済的な困りごとなど、何でもご相談ください。

■子育て世代包括支援センター（保健と福祉の相談窓口）　妊娠・出産・育児に関する相談に応じ、必要な支援へつなげます。相談は、市役所1階・河内区（中岡本町）・平石区（下平出町）・富屋区（徳次郎町）・姿川区（西川田町）の保健と福祉の相談窓口へ。

■子育ての相談窓口

▽子ども総合相談　妊産婦や子どもの健康や各種手続きなどの相談。

▽子どもの発達相談　子どもの運動や言葉、社会性などの発達に関する悩み。

▽その他　子育てに関する相談窓口など、詳しくは、38ページをご覧ください。

社会的孤立を生まない地域づくりを

子育てに対する悩みや不安が子どもに向かうと、児童虐待に至ることがあります。本市の子育てを支援する制度を利用したり、地域において相談や寄り添いができる場所や存在を見つけたりしましょう。

▽子育て支援短期入所（ショートステイ）　保護者が疾病、出産、出張、冠婚葬祭などの理由で児童の養育が一時的に困難なとき、昼夜を通して児童を乳児院や児童養護施設で短期間預かります。利用施設や料金など、詳しくは、子ども家庭支援室☎(632)2788へ。

▽ファミリーサポートセンター　子育ての援助をしたい人と、子育ての援助を受けたい人がお互いに会員になって助け合い、子どもたちの健やかな育ちを地域で援助していくための会員組織です。詳しくは、ファミリーサポートセンター☎(616)1571へ。

私たち主任児童委員にお話し下さい

▲宮の原地区 坂本節子さん

地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるよう、民生委員児童委員と連携して、子育てに関する悩みに皆さんの立場に立って相談に応じ、必要な制度やサービスにつなげる役割を担っています。

最近、悩みごとがあっても一人で抱え込んでしまう人が増えています。子育てに関する悩みごとがあっても、どこに相談すればいいのか分からない時は、ぜひ一度、私たちに声を掛けてくださいね。

子育て中のこんな場面に注意

暑い季節に車中に子どもを残すのは危険

毎年夏になると、車中に取り残された子どもの熱中症による事故が話題になります。エンジンやエアコンが停止してから15分で生命に危険なレベルに達するという実験結果もあります。

例えば、銀行や図書館に立ち寄ったほんの少しの間と思っても、子どもを車中に残して車を離れることは絶対に避けましょう。

乳幼児の加熱式タバコなどの誤飲に注意

乳幼児の加熱式タバコの誤飲事故が多発しています。

誤飲すると、嘔吐や意識がもうろうとするなどの症状を引き起こします。ニコチンは水溶性なので、誤飲が疑われる場合は、水分を与えずすぐに医療機関を受診しましょう。

ボタン電池や磁石、薬品なども誤飲が多いので、子どもの手の届くところに置かないで下さい。

※民生委員児童委員は、自治会ごとにおよそ1・2人で市内に約800人、主任児童委員は連合自治会ごとに2・3人で市内に約80人います。どちらも地区から推薦を受け、厚生労働大臣から委嘱された、無報酬の非常勤特別職の地方公務員です。市民の皆さんのプライバシーを守りながら、相談に当たっています。

◎この特集についてのお問い合わせは、子ども家庭支援室☎(632)2390へ。

本文中に記載がないものは、原則として、対象＝どなたでも、費用＝無料、申込＝不要（定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ）。HP＝ホームページ、✉＝Eメールアドレス、区＝地区市民センター、出＝出張所、涯＝生涯学習センター、参＝うつのみや表参道スクエア、コ＝地域コミュニティセンター、活＝市民活動センター。項目＝申込時に記載する基本項目は、催し名・郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・人数。